

美術科学習指導案

3年2組 男子21名 女子16名 計37名

指導者 藪 陽介

1 題材名 図で伝える ～サイン表示について考える～

2 全体計画（全3時間）

- ・サインについて知る。…………… 1時間
- ・各自で改善のアイデアを練る。…………… 1時間
- ・グループや全体で、よりよいアイデアについて比較しながら話し合う。…………… 1時間（本時3／3）

3 本時の学習

(1) 目標

- ・グループ内や、全体の話合いの中で、位置情報を正確に人々に伝えるために、形や色彩等の効果を生かして分かりやすさや美しさ等を考え、構想を練ることができる。（発想・構想 A表現（2））

(2) 主題解明の手だて

- ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させるために、似通った改善案同士でグルーピングし、比較することでよりよい考えを引き出しやすい場を設定する。

(3) 展開

	学 習 活 動【形態】(配時)	・教師の指示と援助 ◆具体的評価規準<観点> (方法)
導 入	○課題を確認する。【全体】(2) ①学習課題を把握する。	
	課題 どのように改善すれば正確な施設の位置がわかるようになるのだろうか	・課題とともにサインの条件「誰が見ても正確な情報が伝わる」も確認し、改善案を練り上げていく際の指針とする。
展 開	②課題を解決する。 ○各自の改善案を持ち寄り、グループ内でよりよいアイデアについて検討する。 【グループ】(15) ・矢印の方向性を意識する。 ・矢印とピクトグラム（表示マーク）の配置を意識する。 ・色彩を工夫してまとまりを意識する。 など	・似通ったアイデア同士でグルーピングを行う。 ・グループの改善案として、その特徴を生かしたものになるよう、適宜助言する。 ・机間指導をしながら、アイデアの違いが明確になりそのようなグループを選出する。 ・改善点のよさを伝わりやすくするため、用語集を掲示しておく。（まとまり、方向性等）
	○グループ案を発表し、全体で話し合う。 【全体】(20) ・矢印の方向ごとに色分けや上下の間隔を空ける。 ・矢印を左右や上下に集めて表示する。 ・矢印の方向ごとに段をずらし、違いを明らかにする。 ・矢印を伸ばし、ピクトグラムとのつながりを明確にする。 など	・変更した部分と、それによって改善された部分を明確にして発表するよう促す。 ・基本的な改善案のグループから発表し、徐々に改善要素が加わり、よくなっていくように意図的に指名する。 ・発表者からの一方向的なプレゼンテーションに留まることなく、発表を聞いている生徒からも、感想や更によりよいアイデアが出るよう、机間指導等で生徒の考えを把握しておく。 ・他のグループ案と比較しやすくするため、それぞれの案が板書上に残るよう、マグネット資料を準備する。

	③学習の成果を確認する。【個人】(5) ○話し合いを終えて授業を振り返り、他の考えから学んだこと等をワークシートに書く。	・具体的記述ができない生徒については、用語例などを示して個別に指導する。
	評価 B:自分のグループ案の改善点について具体的に説明できる。 A:全体の話合いから他のグループ案のよさを見出し、具体的に説明できる。	◆位置情報を人々に正確に伝えるために、形や色彩等の効果を生かして分かりやすさや美しさ等を考え、構想を練っている。 ＜発想・構想＞（発言、ワークシート）
まとめ	④学習内容を振り返る。【全体】(5) ○グループ発表や話し合いから学んだことを発表する。 ○まとめの話を聞く。【全体】(3)	・ねらいを捉えた感想を書いた生徒を意図的に指名する。 ・視覚言語伝達能力は、プレゼンテーションを始め、今後様々な場面で必要であることを伝え、生涯学習としての視点を与えたい。

(4) 視点

- ・互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させるために、似通った改善案同士でグルーピングをして発表する場を設定したことは、比較の視点を与え、互いの考えを練り上げることにつながっていたか。

資料



実際にあったサイン表示（案内板 A の位置に設置）

実際の配置図